



公明党 伊藤 壽一 議員

- ①障害児・障害者支援について
- ②環境に配慮した農業施策について

質問① 障害者の市役所での就労学習制度の進捗状況は。障害児支援で療養センターの充実が必要では。障害児の支援と障害者の就労支援の機能を併せ持つ障害者総合支援センターが必要ではないか。

答弁① 本年度中に市役所でどのような仕事を提供できるのか検討を進め、19年度以降に実現に向けて取り組む。市の応急診療所の移転完了後に療育センターの改築工事を実施する。現在委託している相談

支援事業を19年4月より障害者相談センターとして一元化して開設し、障害児・者の方のあらゆる相談に対応できる体制づくりを図っていく。

質問② 県事業の「みえの農産物表示制度」を後押ししながら、当市独自の施策が必要では。化学肥料を減らし、環境を考えると生ごみの堆肥化試行事業も必要ではないか。

答弁② 市独自施策については、安心食材という付加価値を強調しながら人と自然にやさしい農産物を消費者がより理解し、購入していただけるよう周知する等様々な点で積極的に支援していきたい。生ごみの堆肥化事業は現在にも増して徹底した分別が必要となるので今は研究課題としていきたい。



公明党 森 しず子 議員

- ①住環境と市民の安心安全について
- ②「鈴鹿市子ども読書活動推進計画」について

質問① 住宅用火災警報器設置義務について、既存住宅、高齢者世帯の対応、悪質な訪問販売などの啓発はどのようにしているか。

答弁① 市民には広報やケーブルテレビ、講習会や研修会、各種イベントを通じて普及啓発を行っている。特に高齢者住宅には民生委員の協力を得ながら普及を促進している。また、悪質訪問販売対策にも広報やパンフレット・ホームページ等を通じて注意を呼びかけている。

質問② 「読書活動推進計画」の内容とそれぞれの策定後の取組、図書巡回指導員の増員や、積極的に推進する学校を増やすことは出来ないか。

答弁② 計画の内容は子どもたちが本に触れることができる環境づくりを目指して今後の子どもの読書活動に関する方策を明確にしたものである。策定後の取組としては市立図書館・公民館や学校図書館等の環境整備や司書教諭の配置等に努めている。図書巡回指導員は本年度19の小学校に派遣しており、今後とも学校図書館の活性化に資するよう読書環境づくりに一層努めたい。



住宅用火災警報器



緑風会 市川 哲夫 議員

- ①鈴鹿の水について
- ②父子家庭について

質問① 鈴鹿の水は鈴鹿川の地下水でまかなっているといわれ、飲料水・工業用水・農業用水など用途が様々であるがその実態について説明されたい。また、シャープ問題の工業用水はどうなっているのか。万一、井戸を亀山市が掘るようなら、その影響はどれほどか。鈴鹿市の今後の水政策についての考えを聞きたい。なお加佐登調整池からシャープ工場への給水について、再度県と協議の考えはないのか。

答弁① 飲料水・工業用水・農業用水それぞれ水源

の確保が異なっており、三重用水は工業用水・農業用の灌漑用水として、鈴鹿川の伏流水は飲料水として使用しているが、過去からの実績で安定供給が出来る。シャープ工場への給水対策は関係機関での理解が得られるなら協議の余地はある。

質問② 様々な支援制度がある中で本市の父子家庭の現状と今後の対応は。

答弁② 平成12年国勢調査で本市62914世帯のうち父子世帯は182世帯である。経済的支援策として一人親家庭等医療費助成制度を充実し、子育てや生活上の面から真に必要な施策のあり方を考えていきたい。



鈴鹿川